



会長 小野寺 伸 浩
幹事 及 川 昭 宏
会報 猪 股 育 夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2769回例会(Web例会) 2021. 2. 4 No.26

本日の出席率

・本日の出席率 100%

会長要件 小野寺伸浩会長

2月になりました。寒さは相変わらずですが、日に日に日差しは強くなっており、春の到来を感じられる今日のこの頃です。皆様お変わりないでしょうか？国際ロータリーから国際大会の中止、2520地区からは地区大会の中止と残念な連絡が連日私のもとに届いております。コロナ禍の中での苦渋の決断と思えます。残念ではありますが、それを受け入れ日々の活動に注力していく所存です。

先週は、今年度初めての例会中止となりましたが、例会予定日前日に羽黒神社社殿にて、厄払いと歳祝いのご祈祷を布施孝尚親睦委員長と私で受けてまいりました。その後、歳祝いの7名の方の事務所もしくは自宅に訪問し、お札や破魔矢、女性には熊手をお渡しして回りました。米寿の方が3名いらっしゃいまして、皆さん矍鑠・頭脳明晰とされており、私もあやかりたいと思った次第です。ご祈祷の様子や7名の方のコメントは2月18日の例会で配信いたしますので、楽しみにお待ちしております。

因みに、羽黒神社の歴史も祈祷の合間に小野宮司からお聞きました。伊達藩と大変ゆかりが深く、社殿は明治に火災で焼失しているようです。現在、錦橋より結構下がっているように見えますが、もともとは羽黒神社の位置が昔の堤防の位置で、橋を架ける際に盛り土が行われ今のような地形になったようでありました。本日は、八谷郁夫パストガバナーによるロータリー情報委員会のフォーラムです。よろしくお祈りします。

幹事報告 及川昭宏幹事

- ・ガバナー事務所より
 1. 2021年国際大会（台湾）について
バーチャルでの開催に決定（詳細は近日中に）
 2. 2020-2021年度地区大会は中止
- ・米山記念奨学会より

- 2021年度米山奨学生の世話クラブ、カウンセラーの依頼（理事会で検討）
- ・ロータリーの友事務所より
2021-2022年度ロータリー手帳の注文について
- ・オクトンより
IRテーマ幕の申し込み書が届く
- ・東和総合運動公園より
運動公園の年間仮予約調整について
- ・古川東RCより、会報が届く
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く
- ・2月のロータリーレート 1ドル=104円

各委員会報告

- ・米山記念奨学会委員会（佐々木源悦委員長）
米山寄付（普通寄付・特別寄付）に対する申告用の領収証が届いています。必要な方は、サンシャイン佐沼のフロントでお受け取り下さい。

誕生祝（2月に誕生日を迎えられる会員）

- 鈴木彦衛会員 後藤益美会員 飯塚仁哉会員
菅原慶一会員 佐々木淳会員 佐竹孝行会員

歳祝い

- ・米寿を迎えられる会員
佐藤幸一会員 布施孝之会員 村上武彦会員
- ・傘寿を迎えられる会員 二階堂恭子会員
- ・喜寿を迎えられる会員 佐藤静市会員
- ・古希を迎えられる会員 佐藤早智子会員
- ・還暦を迎えられる会員 布施孝尚会員

フォーラム

- ・ロータリー情報委員会（八谷郁夫委員長）
「ロータリーの感染症への取り組み」
ロータリーは、ロータリー財団事業である六つの重点分野の一つ「疾病予防と治療」で適切な手洗いや感染予防法について啓発活動を行い、医療従事者への研修や医療機器を提供しております。
ロータリーの感染症への取り組みは、ポリオ撲滅運

動に始まりました。

- ・1979年：国際ロータリーとフィリピン政府が共同で6百万人の子供にポリオの予防接種を実施（生ワクチン）
- ・1985年：国際ロータリーが、「ポリオ・プラス」を開始。1億2,000万米ドルの寄付を誓約。
- ・1988年：ロータリアンが2億4,700万米ドルをポリオ撲滅に寄付をする。
- ・現時点常在国：アフガニスタン、パキスタンの2ヶ国のみです。40年を経過しても根絶していません。地球上から根絶しない限り、ワクチン（経口生ワクチン→不活性ワクチン）投与は続けなければなりません。ポリオの場合は経口生ワクチンで投与してきまされたので比較的簡単のため誰でも出来るという要素がありますが、新型コロナの場合は注射でやるということで、大分やっかいになるのではと思っております。

ロータリーの社会奉仕は行動を伴うということで、ポリオ撲滅活動はロータリーの典型的社会奉仕として実施してきましたが、コロナの場合は注射ということでお医者さんしか出来ないという要素がありますので行動を伴った支援は非常に難しいのではないかと感じております。

新型コロナウイルスパンデミックに対する現在のロータリーの支援活動を皆さんにお知らせして、当クラブでもどのような支援活動が出来るかということを検討していかなければならないと思っております。

- ・医療施設や病院に防護用品を寄贈（イタリア D2041）
- ・人口呼吸器と防護用品を寄贈（イタリア D2080）
- ・マスク購入用に21,000ドル寄付（台湾）
- ・マスクと殺菌剤を寄贈（香港）
- ・空港トイレに体温計、学校へのコロナ認識ポスターを配布（スリランカ）
- ・マスクの配布（パキスタン）
- ・赤十字に155,000\$寄付（韓国 D3,700）
- ・ショウンバーグ・ホフマンエステイツ・ロータリークラブは、募金行事をフェイスブック上で実施。100品以上のオークションを行い、100,000\$以上の募金に成功。行事予定の350人分の食べ物は、地元の恵まれない人たちに届けた。（米国イリノイ州）
- ・シリコンバレー・ロータリーEクラブは、他クラブの会員を招いてオンライン会議を開き、会員が繋がりを維持するためのデジタルツール活用法を紹介した。この会議を録画し、会員がいつでも閲覧・シェアできるようにしている。（米国カリフォルニア）
- ・第34ゾーン（米国とカリブ海）は、会員の繋がりを保つためのオンラインツール活用ガイドを作成。
- ・カリビアン7020ロータリーEクラブは、ゾーン内のクラブがオンライン例会を実施できるよう援助している。

- ・学校でコロナウイルスによる病気と予防法についてキャンペーン、健康維持のための衛生習慣に関する資料を配布。（ナイジェリア）
- ・隔離状態の一人暮らし市民に連絡状況確認をする。媒介として花を届ける。（米国 MR）

○危機管理

- ・直接会う例会や行事を中止
- ・オンライン例会にウイルス学者を招き、コロナウイルスの感染経路や予防法に対する知識を広めた。（トロント）
- ・宅配サービスを行う地元の食料品店、薬局、レストランのオンラインリストを作成し配布。（米国W）
- ・支援を必要とする人と、支援を提供できる人をフェイスブックのグループを立ち上げて繋ぐ。（英HF）

○コロナ

- 「感染させられることの責任」
- ・回避すべきこと
三密（密閉、密集、密接）
接触（キス、ハグ、テーブル、ドアノブ、蛇口、食器類）
飛沫（お喋り、叫ぶ、歌う）
- ・手洗い、マスクの着用
- ・状況判断—中途回避の勇氣
- ・PCR陰性は感染しない保証ではない。
- ・ワクチン接種後でも10万人に1.4人は可染可能
「感染させることの責任」
- ・認識無きも症状あればPCR受診
- ・PCR陰性はその時だけの証明であって、予防しなければ感染・伝搬のおそれがある。
- ・感染可能性認識（症状なしでも）必ずPCR受診
- ・感染認識、PCR陽性が確認された場合、感染させれば犯罪と思うべし
- ・ワクチン接種で抗体ができた時、発症はしないが感染、伝搬のおそれがある。
- 以上のことに注意し、元気で我慢の時を過ごしましょう。
- 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。



Web例会でスピーチをする八谷郁夫会員

●2月の定例理事会議事録(2月4日(木)分)●

○議事内容

- (1) 2月例会開催について
1月15日付案内から変更なし（Web例会）
2/4(木)R情報委員会フォーラム 2/11(木)休会
2/18(木)歳祝いビデオ放映 2/25(木)スピーチ岩淵栄市会員
- (2) 米山記念奨学生世話クラブ、カウンセラーの引き受け
カウンセラー：佐々木源悦委員長
- (3) 地区事業及びRI事業について
2520地区大会中止、国際大会（台湾）はWebでの開催